

福祉健康部地域医療課

令和 2 年 9 月定例会 厚生消防委員会

令和元年度 生駒市立病院 実施状況調査報告書

目 次

診療科目	1
病床数	2
人員体制	3
患者数	4
質の高い医療の提供	5
地域完結型の医療体制構築への寄与	8
救急医療の充実	1 0
小児医療の充実	1 2
災害時医療の確保	1 2
予防医療の啓発	1 2
市民参加による運営	1 3
環境に配慮した運営	1 3
収支	1 4

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 31 年度 事業計画	令和元年度 事業報告	令和元年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題																																																											
診療科目	14 診療科	16 診療科	16 診療科	<診療科目> 令和元年度において、診療科の変更なし	○高次、専門性の高い医療機関である近畿大学奈良病院及び奈良県総合医療センターと幅広い診療科において、病病連携している。																																																											
	内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。	内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前診察 9：00～12：00 夕方診察 17：00～19：00 (土曜日除く) ・受付時間 午前診察 8：00～12：00 夕方診察 16：30～19：00 (土曜日除く) ・既存の診療科の医療内容の充実を目指し、常勤医師の確保を図ります。 ・患者の医療ニーズに対応するため、引き続き、専門外来の充実、院内の診療科間の連携及びより高次、専門性の高い医療機関との連携を進めます。	内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前診察 9：00～12：00 夕方診察 17：00～19：00 (土曜日除く) ・受付時間 午前診察 8：00～12：00 夕方診察 16：30～19：00 (土曜日除く) 既存の診療科について、常勤医師（内科・救急科・腎臓泌尿器科・産婦人科・麻酔科）の確保を図りました。 また、専門外来として、平成 31 年 4 月から下肢静脈瘤外来を開設しました。 さらに、院内の診療科間の連携を深め、より高次、専門性の高い医療機関との連携体制（小児科、脳神経外科等における近畿大学奈良病院や奈良県総合医療センターとの連携体制）を推進しました。	<診療科目> 令和元年度において、診療科の変更なし		○健診や人間ドックの件数増や他の診療所からの紹介により、乳腺・甲状腺外来等の受診者数が増加しており、市民ニーズに対応できている。																																																										
				<その他>	○下肢静脈瘤外来を開設するなど質の高い医療の提供を目指し、特定の疾患や症状について、専門的な診療・治療を行う専門外来の機能が充実しつつある。																																																											
				<table><tr><th>内容</th><th>開始時期</th><th>診察時間</th><th>R1</th><th>H30</th></tr><tr><td>総合診療科（内科系、外科系を含めて総合的に診察）</td><td>H27. 7～</td><td>月～金 17:00～</td><td>2,458 件</td><td>2,665 件</td></tr><tr><td>大学の腎泌尿器外科教授による特別外来</td><td>H27. 9～</td><td>月2回PM（予約制）</td><td>289 件</td><td>263 件</td></tr><tr><td>がん治療相談外来 ※1（放射線科）</td><td>H27. 10～</td><td>週1回AM</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ペイン（痛み）外来（麻酔科）</td><td>H27. 11～</td><td>月2回AM</td><td>152 件</td><td>242 件</td></tr><tr><td>助産外来 ※1（産婦人科）</td><td>H28. 4～</td><td>週1回PM</td><td></td><td></td></tr><tr><td>フットケア外来（形成外科）</td><td>H28. 6～</td><td>週3回AM</td><td>630 件</td><td>614 件</td></tr><tr><td>乳腺・甲状腺外来（外科）</td><td>H29. 10～</td><td>週1回AM</td><td>989 件</td><td>766 件</td></tr><tr><td>小児アレルギー外来（小児科）</td><td>H29. 10～</td><td>週1回PM</td><td>55 件</td><td>15 件</td></tr><tr><td>まぶた外来 ※2（形成外科）</td><td>H28. 12～</td><td rowspan="3">週2回PM 週1回AM 専門外来を開設</td><td rowspan="3">575 件</td><td rowspan="3">687 件</td></tr><tr><td>アンチエイジング外来※2（形成外科）</td><td>H29. 4～</td></tr><tr><td>レーザー外来 ※2（形成外科）</td><td>H29. 8～</td></tr><tr><td>下肢静脈瘤外来 ※2（形成外科）</td><td>H31. 4～</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※1 がん治療相談外来、助産外来については、外来患者数に含めて算出しているため、件数の算出が不可能 ※2 まぶた外来・アンチエイジング外来・レーザー外来・下肢静脈瘤外来については、担当医が同一であるため、件数を合算している。	内容	開始時期	診察時間	R1	H30	総合診療科（内科系、外科系を含めて総合的に診察）	H27. 7～	月～金 17:00～	2,458 件	2,665 件	大学の腎泌尿器外科教授による特別外来	H27. 9～	月2回PM（予約制）	289 件	263 件	がん治療相談外来 ※1（放射線科）	H27. 10～	週1回AM			ペイン（痛み）外来（麻酔科）	H27. 11～	月2回AM	152 件	242 件	助産外来 ※1（産婦人科）	H28. 4～	週1回PM			フットケア外来（形成外科）	H28. 6～	週3回AM	630 件	614 件	乳腺・甲状腺外来（外科）	H29. 10～	週1回AM	989 件	766 件	小児アレルギー外来（小児科）	H29. 10～	週1回PM	55 件	15 件	まぶた外来 ※2（形成外科）	H28. 12～	週2回PM 週1回AM 専門外来を開設	575 件	687 件	アンチエイジング外来※2（形成外科）	H29. 4～	レーザー外来 ※2（形成外科）	H29. 8～	下肢静脈瘤外来 ※2（形成外科）	H31. 4～				
内容	開始時期	診察時間	R1	H30																																																												
総合診療科（内科系、外科系を含めて総合的に診察）	H27. 7～	月～金 17:00～	2,458 件	2,665 件																																																												
大学の腎泌尿器外科教授による特別外来	H27. 9～	月2回PM（予約制）	289 件	263 件																																																												
がん治療相談外来 ※1（放射線科）	H27. 10～	週1回AM																																																														
ペイン（痛み）外来（麻酔科）	H27. 11～	月2回AM	152 件	242 件																																																												
助産外来 ※1（産婦人科）	H28. 4～	週1回PM																																																														
フットケア外来（形成外科）	H28. 6～	週3回AM	630 件	614 件																																																												
乳腺・甲状腺外来（外科）	H29. 10～	週1回AM	989 件	766 件																																																												
小児アレルギー外来（小児科）	H29. 10～	週1回PM	55 件	15 件																																																												
まぶた外来 ※2（形成外科）	H28. 12～	週2回PM 週1回AM 専門外来を開設	575 件	687 件																																																												
アンチエイジング外来※2（形成外科）	H29. 4～																																																															
レーザー外来 ※2（形成外科）	H29. 8～																																																															
下肢静脈瘤外来 ※2（形成外科）	H31. 4～																																																															
				<下肢静脈瘤外来> 平成 31 年 4 月から下肢静脈瘤に対して、血管内焼灼術、静脈除去術、硬化療法、色素レーザーによる病変の治療を症状に合わせて選択し、治療を行います。																																																												

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 31 年度 事業計画	令和元年度 事業報告	令和元年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題
病床数	病床数	210 床	(令和 2 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 210 床	(令和 2 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 210 床	○HCU を 1 床増床させたことにより、緊急入院患者、重症患者及び術後患者の増加に備え、手厚い治療体制の充実が図られている。 ○看護基準が 1 0 対 1 から 7 対 1 へとアップしたことにより、受け持ちの患者数を減らすことができ、患者一人ひとりに対して、直接的ケアをすることができる時間が増えた。 また、夜勤時も人員を増やす体制を整えつつあり、入院患者に対するケアの充実など、看護体制がさらに充実した。 課題 新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、今後も病床利用率の改善は困難な状況にあるが、整形外科の常勤医師の退職により、病床利用率が低かったことから、整形外科をはじめとする常勤医師が不足する診療科の医師確保の取組を一層進める必要がある。 また、小児科の救急医療、入院医療体制の構築や小児二次輪番体制の参加に向けて、体制の整備に努める必要がある。
	I C U	7 床	小児科 5 床	小児科 5 床	
	小児科	20 床	産婦人科 20 床	産婦人科 19 床	
	産婦人科	20 床	内科系 87 床	内科系 87 床	
	内科系	79 床	外科系 90 床	外科系 91 床	
	外科系	84 床	HCU 8 床	HCU 8 床	
			病棟編成 5 病棟、7 対 1 看護基準（一般） 4 対 1 看護基準（HCU）	病棟編成 5 病棟、 7 対 1 看護基準（一般） 4 対 1 看護基準（HCU）	
			看護体制のさらなる充実を目指し、10:1 から 7:1 に看護基準のアップを図ります。	当初外科系を 1 床減らして、HCU を 1 床増床する予定で、計画を作成しました。 しかし、外科系患者を HCU に受け入れることが多いと想定されたため、使用していない産婦人科の 1 床を減らし、HCU を 1 床増やしました。	
			・入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との連携の強化に取り組み、既存病床の利用率の向上を目指します。	1 日平均病床利用率 （R 元年度）55.8% 整形外科の常勤医師の退職により、計画を下回りました。	
			・重症の救急患者や術後患者等に対応するため、HCU を増床します。	R 元年 7 月 1 日から HCU を 7 床から 8 床に増床し、R 2 年 3 月末までの HCU の病床利用率は、79.9%となっています。	
			・小児科の常勤医師の増員により、小児科の救急医療や入院医療の体制を整備します。	小児科常勤医師については、紹介会社からの紹介や、グループ内での異動等、募集活動が続けましたが、増員に至りませんでした。	

	R1	H30	増減
実稼働可能病床数	210	210	0
小児科	5	5	0
産婦人科	19	20	△ 1
内科系	87	87	0
外科系	91	91	0
HCU	8	7	1

看護基準
12 月以降 10 対 1 から 7 対 1 へアップした。

1 日平均病床利用率
（H30 年度：61.5%→R 元年度：55.8%）

4 階西病棟
小児科・産婦人科と女性の一般患者を対象とした混合病棟

4 階東病棟
整形外科、腎臓泌尿器科

5 階西病棟
循環器内科、血管外科、形成外科、一般内科

5 階東病棟
外科、消化器内科

<HCU（High Care Unit）>
・準集中治療室
・専任の常勤医師が常時院内に勤務していることが必要
・看護基準 4 対 1

<参考：HCU の稼働状況>

月	延べ患者数	5床以上使用日数	病床利用率(%)
4	178	30	84.8
5	186	30	85.7
6	157	21	74.8
7	198	30	79.8
8	170	29	68.5
9	184	30	76.7
10	239	31	96.4
11	202	30	84.2
12	204	31	82.3
1	211	31	85.1
2	162	20	69.8
3	176	24	71.0
合計	2,267	337	79.9

1 日最大稼働病床数（R 元年度）
165 床（病床利用率：165 床÷210 床＝78.6 %）

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 31 年度 事業計画		令和元年度 事業報告		令和元年度 事業報告の補足説明								取組の評価・課題			
人員体制	人員体制については、開院当初は、1 日平均想定患者数（外来 300 名、入院 140 名と仮定）による医療法規定人員数に基づき、次のとおり整えます。	(令和2年3月31日)		(令和2年3月31日現在)		R1		H30		増減		○救急科の常勤医師を 1 名確保したことにより、24 時間 365 日救急患者の受け入れ態勢のさらなる充実が図られた。	○麻酔科の常勤医師を 1 名増員したことにより、手術体制の整備が図られた。				
			常勤		常勤	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算						
		内科	3名	内科	4名	内科	4	4.9	3	3.8	1			1.1			
		消化器内科	2名	消化器内科	0名	消化器内科	0	0.2	0	0.6	0			△ 0.4			
		循環器内科	2名	循環器内科	2名	循環器内科	2	2.0	2	2.0	0			0.0			
		外科	3名	外科	2名	外科	2	2.0	2	2.1	0			△ 0.1			
		脳神経外科	1名	脳神経外科	0名	脳神経外科	0	0.2	0	0.2	0			0.0			
		整形外科	2名	整形外科	0名	整形外科	0	0.3	1	1.1	△ 1			△ 0.8			
		形成外科	2名	形成外科	1名	形成外科	1	1.5	3	3.2	△ 2			△ 1.7			
		小児科	2名	小児科	1名	小児科	1	1.2	1	1.1	0			0.1			
医師	腎臓泌尿器科	腎臓泌尿器科	2名	腎臓泌尿器科	2名	腎臓泌尿器科	2	2.4	2	2.2	0	0.2	○産婦人科の常勤医師を 1 名増員したことにより、産婦人科の診療体制が充実し、婦人科腫瘍に係る治療体制の充実が図られた。	○医療従事者の育児休業からの復職支援として時短勤務を導入するなど、出産、育児といったライフステージに応じた就労支援の取組がなされている。			
		産婦人科	2名	産婦人科	2名	産婦人科	2	3.0	1	2.5	1	0.5					
		リハビリテーション科	1名	リハビリテーション科	0名	リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0					
		放射線科	1名	放射線科	1名	放射線科	1	1.0	1	1.0	0	0.0					
		救急科	1名	救急科	1名	救急科	1	2.7	0	1.9	1	0.8					
		麻酔科	2名	麻酔科	2名	麻酔科	2	2.0	1	1.5	1	0.5					
		血管外科	1名	血管外科	1名	血管外科	1	1.0	1	1.0	0	0.0					
		皮膚科	1名	皮膚科	1名	皮膚科	1	1.1	1	1.2	0	△ 0.1					
		計	28名	計	20名	計	20	25.5	19	25.6	1	△ 0.1					
		看護師	外来部門	外来部門	41名	外来部門	39名	外来部門	39	44.7	31	37.1			8	7.6	○産婦人科の常勤医師を 1 名増員したことにより、産婦人科の診療体制が充実し、婦人科腫瘍に係る治療体制の充実が図られた。
入院部門	107名			入院部門	80名	入院部門	80	86.7	80	85.1	0	1.6					
内) 准看護師	5名			内) 准看護師	3名	内) 准看護師	3	3.0	5	5.0	△ 2	△ 2.0					
内) 助産師	14名			内) 助産師	13名	内) 助産師	13	14.3	12	13.3	1	1.0					
内) 保健師	0名			内) 保健師	0名	内) 保健師	0	0.0	0	0.0	0	0.0					
計	148名			計	119名	計	119	131.4	111	122.2	8	9.2					
薬剤師	13名			薬剤師	11名	薬剤師	11	11.8	9	9.8	2	2.0					
理学療法士	12名			理学療法士	11名	理学療法士	11	11.0	10	10.0	1	1.0					
作業療法士	3名			作業療法士	1名	作業療法士	1	1.0	1	1.0	0	0.0					
言語聴覚士	3名			言語聴覚士	2名	言語聴覚士	2	2.0	2	2.0	0	0.0					
その他	放射線技師	放射線技師	8名	放射線技師	8名	放射線技師	8	8.0	8	8.0	0	0.0	○産婦人科の常勤医師を 1 名増員したことにより、産婦人科の診療体制が充実し、婦人科腫瘍に係る治療体制の充実が図られた。	○医療従事者の育児休業からの復職支援として時短勤務を導入するなど、出産、育児といったライフステージに応じた就労支援の取組がなされている。			
		検査技師	10名	検査技師	9名	検査技師	9	9.0	7	7.0	2	2.0					
		栄養士	3名	栄養士	3名	栄養士	3	3.0	3	3.0	0	0.0					
		看護助手	15名	看護助手	17名	看護助手	17	18.5	19	19.0	△ 2	△ 0.5					
		臨床工学技士	5名	臨床工学技士	5名	臨床工学技士	5	5.0	3	3.0	2	2.0					
		事務職員等	47名	事務職員等	45名	事務職員等	45	49.2	45	49.4	0	△ 0.2					
		計	119名	計	112名	計	112	118.5	107	112.2	5	6.3					
		合計	295名	合計	251名	合計	251	275.4	237	260.0	14	15.4					
		＜常勤換算数＞													○救急科の常勤医師を 1 名確保したことにより、24 時間 365 日救急患者の受け入れ態勢のさらなる充実が図られた。	○麻酔科の常勤医師を 1 名増員したことにより、手術体制の整備が図られた。	
		常勤換算数＝非常勤職員の勤務時間の合計÷常勤職員が勤務するべき時間															
＜常勤医師の確保＞																	
グループ内転勤 1 名 医局人事 1 名 勤務希望者の募集 3 名																	
＜令和 2 年 3 月 31 日現在の非常勤職員数＞																	
医師 54 名、看護師 18 名、その他 11 名																	
＜医師の業務軽減＞																	
・医師事務作業補助者 7 名（内科系 1 名、外科 1 名、整形外科 1 名、産婦人科 1 名、形成外科・小児科・皮膚科 2 名、フリー1 名）																	
＜看護師、医療スタッフ等の確保対策＞																	
・院内保育所の設置 利用スタッフ数 35 名																	
・研修参加費用の補助 学会への出張旅費等																	
・看護実習生の受入 927 名																	
＜専門的な知識と技術を持った看護師＞																	
認定看護管理者 1 名、がん化学療法看護認定看護師 1 名、慢性腎臓病療養指導看護師 1 名、透析技術認定士 1 名、フットケア指導士 1 名 糖尿病療法指導士 1 名（延べ人数）																	
＜専門的な知識と技術を持った薬剤師＞																	
漢方薬・生薬認定薬剤師 1 名、外来がん治療認定薬剤師 1 名、NST 専門療法士※1 名 糖尿病指導療法士 1 名 サプリメントアドバイザー1 名（延べ人数）																	
※N S T（栄養サポートチーム）専門療法士とは、入院患者を対象に最良の栄養サポートを行う管理栄養士等が目指す資格のこと。																	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 31 年度 事業計画	令和元年度 事業報告	令和元年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題																																																																																																																																																																																									
患者数		1 日平均患者数	1 日平均患者数	< 入院 >	○病院だよりの定期的な発行をはじめ、院内の広報委員会による広報活動の取り組みの強化など市民への周知の体制づくりが進められている。 ○地域の医療機関への情報提供等訪問回数が増加しており、地域の医療機関への周知の取り組みがより一層強化されている。 課題 入院患者数及び外来患者数ともに計画を下回っており、常勤医師の確保に努めるとともに、地域の医療機関との病病連携及び病診連携をより一層進める必要がある。																																																																																																																																																																																									
		<table><tr><td></td><td>入院</td><td>外来</td></tr><tr><td>4月</td><td>150.0 人</td><td>220.5 人</td></tr><tr><td>5月</td><td>150.0 人</td><td>220.5 人</td></tr><tr><td>6月</td><td>155.0 人</td><td>221.0 人</td></tr><tr><td>7月</td><td>155.0 人</td><td>222.0 人</td></tr><tr><td>8月</td><td>155.0 人</td><td>227.0 人</td></tr><tr><td>9月</td><td>160.0 人</td><td>227.0 人</td></tr><tr><td>10月</td><td>160.0 人</td><td>227.0 人</td></tr><tr><td>11月</td><td>160.0 人</td><td>232.0 人</td></tr><tr><td>12月</td><td>165.0 人</td><td>232.0 人</td></tr><tr><td>1月</td><td>165.0 人</td><td>237.0 人</td></tr><tr><td>2月</td><td>165.0 人</td><td>237.0 人</td></tr><tr><td>3月</td><td>165.0 人</td><td>237.0 人</td></tr><tr><td>年間平均</td><td>158.7 人</td><td>228.3 人</td></tr></table>		入院		外来	4月	150.0 人	220.5 人	5月	150.0 人	220.5 人	6月	155.0 人	221.0 人	7月	155.0 人	222.0 人	8月	155.0 人	227.0 人	9月	160.0 人	227.0 人	10月	160.0 人	227.0 人	11月	160.0 人	232.0 人	12月	165.0 人	232.0 人	1月	165.0 人	237.0 人	2月	165.0 人	237.0 人	3月	165.0 人	237.0 人	年間平均	158.7 人	228.3 人	<table><tr><td></td><td>入院</td><td>外来</td></tr><tr><td>4月</td><td>126.0 人</td><td>206.9 人</td></tr><tr><td>5月</td><td>135.8 人</td><td>207.6 人</td></tr><tr><td>6月</td><td>135.9 人</td><td>224.9 人</td></tr><tr><td>7月</td><td>134.2 人</td><td>210.6 人</td></tr><tr><td>8月</td><td>122.2 人</td><td>205.0 人</td></tr><tr><td>9月</td><td>106.1 人</td><td>199.4 人</td></tr><tr><td>10月</td><td>111.5 人</td><td>217.8 人</td></tr><tr><td>11月</td><td>112.4 人</td><td>230.8 人</td></tr><tr><td>12月</td><td>94.2 人</td><td>213.2 人</td></tr><tr><td>1月</td><td>104.5 人</td><td>183.1 人</td></tr><tr><td>2月</td><td>117.2 人</td><td>176.2 人</td></tr><tr><td>3月</td><td>105.7 人</td><td>162.4 人</td></tr><tr><td>年間平均</td><td>117.1 人</td><td>203.2 人</td></tr><tr><td>達成率</td><td>73.8 %</td><td>89.0 %</td></tr></table>		入院	外来	4月	126.0 人	206.9 人	5月	135.8 人	207.6 人	6月	135.9 人	224.9 人	7月	134.2 人	210.6 人	8月	122.2 人	205.0 人	9月	106.1 人	199.4 人	10月	111.5 人	217.8 人	11月	112.4 人	230.8 人	12月	94.2 人	213.2 人	1月	104.5 人	183.1 人	2月	117.2 人	176.2 人	3月	105.7 人	162.4 人	年間平均	117.1 人	203.2 人	達成率	73.8 %	89.0 %	<table><tr><td></td><td colspan="2">R1</td><td colspan="2">H30</td><td colspan="2">増減</td></tr><tr><td></td><td>延べ人数</td><td>1日平均</td><td>延べ人数</td><td>1日平均</td><td>延べ人数</td><td>1日平均</td></tr><tr><td>内科</td><td>8,086</td><td>22.1</td><td>8,001</td><td>21.9</td><td>85</td><td>0.2</td></tr><tr><td>消化器内科</td><td>612</td><td>1.7</td><td>1,705</td><td>4.7</td><td>△ 1,093</td><td>△ 3.0</td></tr><tr><td>循環器内科</td><td>8,304</td><td>22.7</td><td>1,839</td><td>5.0</td><td>6,465</td><td>17.7</td></tr><tr><td>外科</td><td>9,546</td><td>26.1</td><td>9,042</td><td>24.8</td><td>504</td><td>1.3</td></tr><tr><td>整形外科</td><td>5,924</td><td>16.2</td><td>9,917</td><td>27.2</td><td>△ 3,993</td><td>△ 11.0</td></tr><tr><td>形成外科</td><td>4,863</td><td>13.3</td><td>4,686</td><td>12.8</td><td>177</td><td>0.4</td></tr><tr><td>小児科</td><td>314</td><td>0.9</td><td>400</td><td>1.1</td><td>△ 86</td><td>△ 0.2</td></tr><tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>1,045</td><td>2.9</td><td>1,086</td><td>3.0</td><td>△ 41</td><td>△ 0.1</td></tr><tr><td>産婦人科</td><td>1,428</td><td>3.9</td><td>1,695</td><td>4.6</td><td>△ 267</td><td>△ 0.7</td></tr><tr><td>リハビリテーション科</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>血管外科</td><td>2,743</td><td>7.5</td><td>8,784</td><td>24.1</td><td>△ 6,041</td><td>△ 16.6</td></tr><tr><td>計</td><td>42,865</td><td>117.1</td><td>47,155</td><td>129.2</td><td>△ 4,290</td><td>△ 12.1</td></tr></table>		R1		H30		増減			延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	内科	8,086	22.1	8,001	21.9	85	0.2	消化器内科	612	1.7	1,705	4.7	△ 1,093	△ 3.0	循環器内科	8,304	22.7	1,839	5.0	6,465	17.7	外科	9,546	26.1	9,042	24.8	504	1.3	整形外科	5,924	16.2	9,917	27.2	△ 3,993	△ 11.0	形成外科	4,863	13.3	4,686	12.8	177	0.4	小児科	314	0.9	400	1.1	△ 86	△ 0.2	腎臓泌尿器科	1,045	2.9	1,086	3.0	△ 41	△ 0.1	産婦人科	1,428	3.9	1,695	4.6	△ 267	△ 0.7	リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	血管外科	2,743	7.5	8,784	24.1	△ 6,041	△ 16.6	計	42,865	117.1	47,155	129.2	△ 4,290	△ 12.1
		入院	外来																																																																																																																																																																																											
	4月	150.0 人	220.5 人																																																																																																																																																																																											
	5月	150.0 人	220.5 人																																																																																																																																																																																											
	6月	155.0 人	221.0 人																																																																																																																																																																																											
	7月	155.0 人	222.0 人																																																																																																																																																																																											
	8月	155.0 人	227.0 人																																																																																																																																																																																											
	9月	160.0 人	227.0 人																																																																																																																																																																																											
	10月	160.0 人	227.0 人																																																																																																																																																																																											
11月	160.0 人	232.0 人																																																																																																																																																																																												
12月	165.0 人	232.0 人																																																																																																																																																																																												
1月	165.0 人	237.0 人																																																																																																																																																																																												
2月	165.0 人	237.0 人																																																																																																																																																																																												
3月	165.0 人	237.0 人																																																																																																																																																																																												
年間平均	158.7 人	228.3 人																																																																																																																																																																																												
	入院	外来																																																																																																																																																																																												
4月	126.0 人	206.9 人																																																																																																																																																																																												
5月	135.8 人	207.6 人																																																																																																																																																																																												
6月	135.9 人	224.9 人																																																																																																																																																																																												
7月	134.2 人	210.6 人																																																																																																																																																																																												
8月	122.2 人	205.0 人																																																																																																																																																																																												
9月	106.1 人	199.4 人																																																																																																																																																																																												
10月	111.5 人	217.8 人																																																																																																																																																																																												
11月	112.4 人	230.8 人																																																																																																																																																																																												
12月	94.2 人	213.2 人																																																																																																																																																																																												
1月	104.5 人	183.1 人																																																																																																																																																																																												
2月	117.2 人	176.2 人																																																																																																																																																																																												
3月	105.7 人	162.4 人																																																																																																																																																																																												
年間平均	117.1 人	203.2 人																																																																																																																																																																																												
達成率	73.8 %	89.0 %																																																																																																																																																																																												
	R1		H30		増減																																																																																																																																																																																									
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均																																																																																																																																																																																								
内科	8,086	22.1	8,001	21.9	85	0.2																																																																																																																																																																																								
消化器内科	612	1.7	1,705	4.7	△ 1,093	△ 3.0																																																																																																																																																																																								
循環器内科	8,304	22.7	1,839	5.0	6,465	17.7																																																																																																																																																																																								
外科	9,546	26.1	9,042	24.8	504	1.3																																																																																																																																																																																								
整形外科	5,924	16.2	9,917	27.2	△ 3,993	△ 11.0																																																																																																																																																																																								
形成外科	4,863	13.3	4,686	12.8	177	0.4																																																																																																																																																																																								
小児科	314	0.9	400	1.1	△ 86	△ 0.2																																																																																																																																																																																								
腎臓泌尿器科	1,045	2.9	1,086	3.0	△ 41	△ 0.1																																																																																																																																																																																								
産婦人科	1,428	3.9	1,695	4.6	△ 267	△ 0.7																																																																																																																																																																																								
リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0																																																																																																																																																																																								
血管外科	2,743	7.5	8,784	24.1	△ 6,041	△ 16.6																																																																																																																																																																																								
計	42,865	117.1	47,155	129.2	△ 4,290	△ 12.1																																																																																																																																																																																								
	○入院・外来患者数の増加に向けた取組 特に入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との病病・病診連携の推進及び救急患者の確実な受け入れのほか、市立病院の医療に関する必要な情報を積極的に提供することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。 (市民への周知の取組) ・ホームページ、SNS (ツイッター、Face book)、病院だより、鉄道の車内広告等による広報活動の推進	○入院・外来患者数の増加に向けた取組 地域医療機関との連携推進のほか、市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供しました。 (市民への周知の取組) ・6月から院内に広報委員会(総務課等各部门から委員各1名計7名を選出し、月1回会議開催)を立上げ、広報活動の強化のための体制づくりを図りました。 ・広報委員によるホームページ、ブログ等のチェック、随時更新の実施 ・病院だよりの発行（令和元年8月以降毎月1日発行）	※循環器内科入院患者の増加、血管外科入院患者の減少については、両診療科兼任医師が、血管外科の患者数を循環器内科で算定したため。 < 外来 >	<table><tr><td></td><td colspan="2">R1</td><td colspan="2">H30</td><td colspan="2">増減</td></tr><tr><td></td><td>延べ人数</td><td>1日平均</td><td>延べ人数</td><td>1日平均</td><td>延べ人数</td><td>1日平均</td></tr><tr><td>内科</td><td>16,500</td><td>45.1</td><td>15,349</td><td>42.1</td><td>1,151</td><td>3.0</td></tr><tr><td>消化器内科</td><td>1,519</td><td>4.2</td><td>2,279</td><td>6.2</td><td>△ 760</td><td>△ 2.0</td></tr><tr><td>循環器内科</td><td>5,974</td><td>16.3</td><td>5,846</td><td>16.0</td><td>128</td><td>0.3</td></tr><tr><td>外科</td><td>8,059</td><td>22.0</td><td>7,135</td><td>19.5</td><td>924</td><td>2.5</td></tr><tr><td>脳神経外科</td><td>955</td><td>2.6</td><td>870</td><td>2.4</td><td>85</td><td>0.2</td></tr><tr><td>整形外科</td><td>11,635</td><td>31.8</td><td>16,449</td><td>45.1</td><td>△ 4,814</td><td>△ 13.3</td></tr><tr><td>形成外科</td><td>8,555</td><td>23.4</td><td>7,818</td><td>21.4</td><td>737</td><td>2.0</td></tr><tr><td>小児科</td><td>2,063</td><td>5.6</td><td>1,961</td><td>5.4</td><td>102</td><td>0.2</td></tr><tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>4,586</td><td>12.5</td><td>3,935</td><td>10.8</td><td>651</td><td>1.7</td></tr><tr><td>産婦人科</td><td>4,328</td><td>11.8</td><td>4,325</td><td>11.8</td><td>3</td><td>0.0</td></tr><tr><td>リハビリテーション科</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>放射線科</td><td>656</td><td>1.8</td><td>569</td><td>1.6</td><td>87</td><td>0.2</td></tr><tr><td>麻酔科</td><td>151</td><td>0.4</td><td>241</td><td>0.7</td><td>△ 90</td><td>△ 0.3</td></tr><tr><td>血管外科</td><td>531</td><td>1.5</td><td>696</td><td>1.9</td><td>△ 165</td><td>△ 0.4</td></tr><tr><td>皮膚科</td><td>2,272</td><td>6.2</td><td>4,676</td><td>12.8</td><td>△ 2,404</td><td>△ 6.6</td></tr><tr><td>透析</td><td>3,313</td><td>9.1</td><td>2,386</td><td>6.5</td><td>927</td><td>2.6</td></tr><tr><td>健診科・ドック</td><td>3,264</td><td>8.9</td><td>2,702</td><td>7.4</td><td>562</td><td>1.5</td></tr><tr><td>計</td><td>74,361</td><td>203.2</td><td>77,237</td><td>211.6</td><td>△ 2,876</td><td>△ 8.4</td></tr></table> 参考：達成率（年度実績平均÷年度計画平均） ・入院：117.1 人÷158.7 人＝ 73.8% ・外来：203.2 人÷228.3 人＝ 89.0%		R1		H30		増減			延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	内科	16,500	45.1	15,349	42.1	1,151	3.0	消化器内科	1,519	4.2	2,279	6.2	△ 760	△ 2.0	循環器内科	5,974	16.3	5,846	16.0	128	0.3	外科	8,059	22.0	7,135	19.5	924	2.5	脳神経外科	955	2.6	870	2.4	85	0.2	整形外科	11,635	31.8	16,449	45.1	△ 4,814	△ 13.3	形成外科	8,555	23.4	7,818	21.4	737	2.0	小児科	2,063	5.6	1,961	5.4	102	0.2	腎臓泌尿器科	4,586	12.5	3,935	10.8	651	1.7	産婦人科	4,328	11.8	4,325	11.8	3	0.0	リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	放射線科	656	1.8	569	1.6	87	0.2	麻酔科	151	0.4	241	0.7	△ 90	△ 0.3	血管外科	531	1.5	696	1.9	△ 165	△ 0.4	皮膚科	2,272	6.2	4,676	12.8	△ 2,404	△ 6.6	透析	3,313	9.1	2,386	6.5	927	2.6	健診科・ドック	3,264	8.9	2,702	7.4	562	1.5	計	74,361	203.2	77,237	211.6	△ 2,876	△ 8.4																																														
	R1		H30		増減																																																																																																																																																																																									
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均																																																																																																																																																																																								
内科	16,500	45.1	15,349	42.1	1,151	3.0																																																																																																																																																																																								
消化器内科	1,519	4.2	2,279	6.2	△ 760	△ 2.0																																																																																																																																																																																								
循環器内科	5,974	16.3	5,846	16.0	128	0.3																																																																																																																																																																																								
外科	8,059	22.0	7,135	19.5	924	2.5																																																																																																																																																																																								
脳神経外科	955	2.6	870	2.4	85	0.2																																																																																																																																																																																								
整形外科	11,635	31.8	16,449	45.1	△ 4,814	△ 13.3																																																																																																																																																																																								
形成外科	8,555	23.4	7,818	21.4	737	2.0																																																																																																																																																																																								
小児科	2,063	5.6	1,961	5.4	102	0.2																																																																																																																																																																																								
腎臓泌尿器科	4,586	12.5	3,935	10.8	651	1.7																																																																																																																																																																																								
産婦人科	4,328	11.8	4,325	11.8	3	0.0																																																																																																																																																																																								
リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0																																																																																																																																																																																								
放射線科	656	1.8	569	1.6	87	0.2																																																																																																																																																																																								
麻酔科	151	0.4	241	0.7	△ 90	△ 0.3																																																																																																																																																																																								
血管外科	531	1.5	696	1.9	△ 165	△ 0.4																																																																																																																																																																																								
皮膚科	2,272	6.2	4,676	12.8	△ 2,404	△ 6.6																																																																																																																																																																																								
透析	3,313	9.1	2,386	6.5	927	2.6																																																																																																																																																																																								
健診科・ドック	3,264	8.9	2,702	7.4	562	1.5																																																																																																																																																																																								
計	74,361	203.2	77,237	211.6	△ 2,876	△ 8.4																																																																																																																																																																																								
	・医療講演会（自治会等各種団体への出張講座含む）の推進 (地域の医療機関への周知の取組) ・地域の医療機関への情報提供の推進 ・病診連携懇話会の開催	・医療講演会 72 講座 参加者 2,126 名 (H30 年度:50 講座、2,180 名参加) (地域の医療機関への周知の取組) ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 2,648 件(H30 年度：387 件) H30 年度までは、地域の医療機関への情報提供について、病院だより等を郵送していましたが、直接訪問へと改めたため、訪問回数が増加しました。 ・病診連携懇話会は、内容等の検討に時間を要したため、開催に至りませんでした。	< Facebook の掲載例 > ・公開医療講座のお知らせ ・予防接種のお知らせ ・健診センターのお知らせ ・年末年始の診療体制 < 情報発信モニターの掲載例 > ・診療科の案内 ・薬の案内 ・人間ドック・脳ドックの案内 < 医療講演会の内容例 > ・甲状腺の病気について ・慢性腎臓病の検査について ・市民健診、特定健診、がん検診について ・子宮頸がんについて ・がんの早期発見（たけまる健康講座 in よしもと芸術文化祭） ・下肢静脈瘤の治療（たけまる健康講座 in よしもと芸術文化祭） < 地域の医療機関への情報提供等の内容例 > 新任医師の紹介、外来予定表、医療講演会の案内など																																																																																																																																																																																											

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 事業報告	令和元年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題																																																																																																			
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。	安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとってベストな治療・ケアを行います。 引き続き、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組み、また、ダ・ヴィンチ手術については、対応できる症例の拡大を目指します。 患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。 ○医療サービスについて ・手術件数（全体） 1,392 件 <table><tr><td>外科</td><td>312 件</td></tr><tr><td>整形外科</td><td>240 件</td></tr><tr><td>形成外科</td><td>660 件</td></tr><tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>60 件</td></tr><tr><td>産婦人科</td><td>120 件</td></tr></table> ・分娩件数 168 件 ・産科交流会 ※母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。 ・医療機器等の整備 必要性・採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行います。（導入予定機器） ・乳房 X 線撮影装置（マンモグラフィー） ・高気圧酸素治療装置 ・高圧蒸気滅菌器の増設	外科	312 件	整形外科	240 件	形成外科	660 件	腎臓泌尿器科	60 件	産婦人科	120 件	安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、入院診療計画策定時から多職種が参加して最適な治療方法を策定するなど、チーム医療を実施しました。 腹腔鏡下手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。 また、ダ・ヴィンチ手術については、地域の医療機関からの紹介患者が少なかったため、件数が伸びませんでした。 患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した医療サービスの提供に取り組みました。 ○医療サービスについて ・手術件数（全体） 1,262 件 ・分娩件数 143 件 ・産科交流会 12/21 開催 155 名参加（H30 年度：230 名参加） ・医療機器等の整備（導入機器） ・手術用顕微鏡 ・整形外科手術台 ・関節鏡カメラシステム ・乳房 X 線撮影装置、高気圧酸素治療装置を設置 ・高圧蒸気滅菌器増設は手術件数が予定より伸びなかったことにより、来年度以降増設する予定	＜科目別手術件数＞ <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>外科</td><td>315</td><td>281</td><td>34</td></tr><tr><td>整形外科</td><td>95</td><td>236</td><td>△ 141</td></tr><tr><td>形成外科</td><td>654</td><td>653</td><td>1</td></tr><tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>43</td><td>31</td><td>12</td></tr><tr><td>産婦人科</td><td>97</td><td>100</td><td>△ 3</td></tr><tr><td>放射線科</td><td>7</td><td>9</td><td>△ 2</td></tr><tr><td>血管外科</td><td>44</td><td>28</td><td>16</td></tr><tr><td>皮膚科</td><td>7</td><td>7</td><td>0</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,262</td><td>1,345</td><td>△ 83</td></tr></table> ・上記以外の件数 心臓カテーテル：158 件、PC I：93 件、内視鏡的手術：301 件 （平成 30 年度：心臓カテーテル：165 件、PC I：87 件、内視鏡的手術：164 件） ・主な外科手術例 胆嚢摘出術、後腹膜悪性腫瘍手術など ・主な整形外科手術例 脊椎固定術、観血的関節固定術など ・主な形成外科手術例 血管腫摘出術、皮膚、皮下腫瘍摘出術など ＜腹腔鏡下手術＞（胸腔鏡下手術を含む） <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>件数</td><td>65</td><td>87</td><td>△ 22</td></tr></table> ＜ダ・ヴィンチ手術＞ <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>件数</td><td>3</td><td>8</td><td>△ 5</td></tr></table> ※ 対応症例は、前立腺がん全摘出のみ ＜分娩件数＞ <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td rowspan="3">県内</td><td>市内</td><td>92</td><td>107</td><td>△ 15</td></tr><tr><td>市外</td><td>24</td><td>18</td><td>6</td></tr><tr><td>計</td><td>116</td><td>125</td><td>△ 9</td></tr><tr><td>県外</td><td>27</td><td>31</td><td>△ 4</td></tr><tr><td>合計</td><td>143</td><td>156</td><td>△ 13</td></tr></table> ＜助産制度の実績＞ <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>件数</td><td>0</td><td>6</td><td>△ 6</td></tr></table> ※市立病院は、児童福祉法第 36 条に規定する助産施設 ・ハイリスク分娩への対応は、奈良県立医科大学附属病院と連携を取っています。（件数：1 件） ＜DPC 病院＞ 平成 30 年 4 月に DPC※準備病院の届出をし、令和 2 年 4 月から DPC 対象病院となりました。 ※DPC:Diagnosis(診断) Procedure(行為) Combination(組合せ)の略で、急性期病院を中心に導入が進められている包括払い制度のことです。		R1	H30	増減	外科	315	281	34	整形外科	95	236	△ 141	形成外科	654	653	1	腎臓泌尿器科	43	31	12	産婦人科	97	100	△ 3	放射線科	7	9	△ 2	血管外科	44	28	16	皮膚科	7	7	0	合計	1,262	1,345	△ 83		R1	H30	増減	件数	65	87	△ 22		R1	H30	増減	件数	3	8	△ 5		R1	H30	増減	県内	市内	92	107	△ 15	市外	24	18	6	計	116	125	△ 9	県外	27	31	△ 4	合計	143	156	△ 13		R1	H30	増減	件数	0	6	△ 6	○乳房 X 線撮影装置及び高気圧酸素治療装置を設置したことにより、質の高い医療提供体制の整備が進められている。 ○質の高い医療提供、医療の効率化、透明化を実現するため、次年度の D P C 導入に向けて準備を進めた。 課題 常勤医師の退職により、整形外科の手術件数が大幅に減っており、今後もより一層地域の医療機関との病病連携を進め、患者が困ることのないように、医療体制の整備に努める必要がある。 また、新型コロナウイルス感染症の流行が続くなか、徹底した感染管理に努めながら、質の高い医療提供体制を継続して整備する必要がある。
外科	312 件																																																																																																						
整形外科	240 件																																																																																																						
形成外科	660 件																																																																																																						
腎臓泌尿器科	60 件																																																																																																						
産婦人科	120 件																																																																																																						
	R1	H30	増減																																																																																																				
外科	315	281	34																																																																																																				
整形外科	95	236	△ 141																																																																																																				
形成外科	654	653	1																																																																																																				
腎臓泌尿器科	43	31	12																																																																																																				
産婦人科	97	100	△ 3																																																																																																				
放射線科	7	9	△ 2																																																																																																				
血管外科	44	28	16																																																																																																				
皮膚科	7	7	0																																																																																																				
合計	1,262	1,345	△ 83																																																																																																				
	R1	H30	増減																																																																																																				
件数	65	87	△ 22																																																																																																				
	R1	H30	増減																																																																																																				
件数	3	8	△ 5																																																																																																				
	R1	H30	増減																																																																																																				
県内	市内	92	107	△ 15																																																																																																			
	市外	24	18	6																																																																																																			
	計	116	125	△ 9																																																																																																			
県外	27	31	△ 4																																																																																																				
合計	143	156	△ 13																																																																																																				
	R1	H30	増減																																																																																																				
件数	0	6	△ 6																																																																																																				

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 事業報告	令和元年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題															
	主要疾病（４疾病）に係る医療体制 がん 地域がん診療連携拠点病院(近畿大学医学部奈良病院)と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実 脳卒中 近畿大学医学部奈良病院、奈良県総合医療センターとの連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実 急性心筋梗塞 近畿大学医学部奈良病院、奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・P C I が 24 時間 365 日可能な体制の充実 糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の充実 ○患者満足度の向上について ・入院・外来患者アンケート調査の実施 ・ご意見箱の内容に対応 アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組及び対応できない理由について、ホームページ・情報モニター・病院だよりで公表し、市立病院管理運営協議会へ報告します。 ・院内スタッフ対象の接遇研修の実施	主要疾病（４疾病）に係る医療体制 がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制を確保している。 脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制を確保している。 急性心筋梗塞 近畿大学奈良病院と連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・P C I が 24 時間 365 日可能な体制を確保している。 糖尿病 内科、循環器内科、形成外科及び血管外科において、かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施している。 ○患者満足度の向上について ・入院・外来患者アンケート調査実施（実施期間 H31.3 月～R1.7 月） 患者満足度（総合評価の評点） 入院 88.1 点 外来 78.8 点 ・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。（回答総数 868 件） ・ご意見箱等の内容に対応 ご意見箱等の内容に対して、速やかに対応するよう努めました。 アンケートの調査結果等の公表方法についての検討に時間を要したため、公表に至りませんでした。 ・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 4/8 新入職員向け接遇研修 院内における接遇委員会を月 1 回開催（看護部では月 1 回服装チェックなどを実施） 毎日の朝礼にて、事務職員対象に接遇向上の周知	○主要疾病（４疾病）に係る医療体制 ＜がん＞ ・手術件数：令和元年度 128 件（平成 30 年度 114 件） ・がん患者の治療により生じる合併症や機能障害に対する早期回復等を図る取組として、平成 30 年 2 月から、医師、看護師、リハビリスタッフの 3 名のセラピストによるがんリハビリテーションを開始しています。 ・他病院との連携実績 近畿大学奈良病院 28 件、奈良県総合医療センター 13 件（平成 30 年度：近畿大学奈良病院 23 件、奈良県総合医療センター：3 件） がん登録件数 （H30 年度：196 件→R 元年度：228 件） 32 件増加 ＜脳卒中＞ ・他病院との連携実績 近畿大学奈良病院 3 件、市立奈良病院 5 件、奈良県総合医療センター：5 件） （平成 30 年度 近畿大学奈良病院 7 件、市立奈良病院 4 件、奈良県総合医療センター 7 件） ＜急性心筋梗塞＞ ・心臓カテーテル検査 158 件、P C I 93 件 （平成 30 年度：心臓カテーテル検査 166 件、P C I 88 件） ・手術が必要なときの近畿大学奈良病院との連携 緊急入院 2 件（平成 30 年度：17 件） ＜入院・外来患者アンケート調査＞ 患者満足度（総合評価の評点） <table><tr><td></td><td>入院</td><td>外来</td></tr><tr><td>今回</td><td>88.1</td><td>78.8</td></tr><tr><td>前回</td><td>81.0</td><td>79.3</td></tr><tr><td>同規模</td><td>79.8</td><td>78.9</td></tr><tr><td>G P 全体</td><td>82.4</td><td>78.8</td></tr></table> ＜ご意見箱の内容＞ ・健診センターや病院のスタッフの対応が丁寧で、スピーディでした。病院の雰囲気も良く驚きました。ありがとうございました。 ・ドクターをはじめ、スタッフの皆さんには親切にして頂き、安心して診察が受けられます。感謝しています。 ・ホームページを工夫して充実させてほしい。（回答：現在リニューアルを検討しています。） ・会計の待ち時間がかかりすぎる。（回答：医事課職員のレベルアップを図ります。） ・食事の配膳時及び清掃時に病室のカーテンを閉めるなど、プライバシーに配慮してほしい。（回答：声掛けなどスタッフへの周知を図ります。） 令和元年度意見総数：入院 7 件、外来 23 件 （平成 30 年度意見総数：入院 14 件、外来 14 件）		入院	外来	今回	88.1	78.8	前回	81.0	79.3	同規模	79.8	78.9	G P 全体	82.4	78.8	○がん治療に関しては、外科手術後の放射線治療、血液のがん、肺がん及び悪性腫瘍など地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）との連携が行われている。 ○脳卒中については、奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等と連携し、早期に検査・診断できる体制を確保している。 ○急性心筋梗塞について、内科的治療（P C I）は行えており、外科的治療が必要なときは、近畿大学奈良病院の心臓血管外科との連携体制を整えた。 ○糖尿病については、かかりつけ医との連携のもと、慢性合併症等の治療を実施している。 ○入院患者アンケートにおいて、前回調査や他病院と比べて、特に評価が高かったのは、医師及び看護職員の診察内容及び態度、院内の雰囲気、清掃状況などの各項目であった。 ○アンケートの実施及びご意見箱の設置により、患者や利用者の声に耳を傾け、迅速に対応することで、市民満足度の向上につなげていく仕組みができている。 課題 外来患者アンケートにおいて、医師の診察内容等は、前回調査や他病院と比べて評価が高かったものの待ち時間への配慮などにおいて評価が低かったことから、今後、待ち時間短縮に向け取り組む必要がある。
	入院	外来																	
今回	88.1	78.8																	
前回	81.0	79.3																	
同規模	79.8	78.9																	
G P 全体	82.4	78.8																	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 事業報告	令和元年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題								
医療における安全管理に対する取組 ●安全管理マニュアルの策定について 各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。	(医療安全管理体制について) 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等については、今年度発行予定の病院年報において、インシデント・アクシデントの包括的公表を行います。	(医療安全管理体制について) 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。 また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等については、発行予定の病院年報等において、インシデント・アクシデント件数の包括的公表を行います。	<病院事業計画との対比> <table><tr><th>病院事業計画</th><th>令和元年度事業報告</th></tr><tr><td>リスクマネジメント委員会</td><td>医療安全カンファレンス</td></tr><tr><td>医療安全推進委員会</td><td>医療安全管理委員会</td></tr><tr><td>感染防止委員会</td><td>院内感染対策委員会</td></tr></table> <医療安全管理委員会> 医療安全管理委員会は、委員長を副院長とし、その他、医師、看護師、コメディカルの各部門の責任者で構成されています。 医療安全管理委員会では、院内でのインシデント(ヒヤリハット)・アクシデント事例の情報共有と対策を検討しています。 通常想定されないようなインシデント事例やアクシデント事例が発生した場合は、臨時に医療安全管理委員会を開催するとともに、生駒市に報告する体制ができています。 <医療安全カンファレンス> 医療安全管理委員会の下に設置し、前週のインシデントレポートについて参加者が報告・情報共有・対策等を検討しています。	病院事業計画	令和元年度事業報告	リスクマネジメント委員会	医療安全カンファレンス	医療安全推進委員会	医療安全管理委員会	感染防止委員会	院内感染対策委員会	○院内感染対策に係る地域医療連携として、他病院を中心とする合同カンファレンスに参加し、市内等病院間の相互理解や情報共有を行うことで、地域医療連携を強化している。
病院事業計画	令和元年度事業報告											
リスクマネジメント委員会	医療安全カンファレンス											
医療安全推進委員会	医療安全管理委員会											
感染防止委員会	院内感染対策委員会											
●医療事故に対する対応について 発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM(メディカルリスクマネジメント)委員会で分析したうえ、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行ないます。	(医療事故に対する対応について) 医療事故発生時は、引き続き次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。 ・患者の安全確保と救命処置を最優先します。 ・病院内における事故等の報告を速やかに行います。 ・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。 ・重大な医療事故の場合は、保健所等関係機関へ速やかに報告・届出を行います。 ・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。	(医療事故に対する対応について) 医療事故発生に備えて、日常から迅速・的確に対応できるよう体制を整えています。	<安全管理マニュアル> 各部門に医療安全管理委員(リスクマネージャー)を置き、各部門で作成した詳細マニュアルを運用しています。 (転倒転落、患者確認、口頭指示、体内遺残防止、診断検査の重大な結果報告、手術患者・手術部位の誤認防止、摘出された臓器・組織・検体の取扱など)	○医療安全勉強会及び感染勉強会については、同一内容の勉強会を複数回開催しており、できるだけ全職員が受講できるように努めている。								
●院内感染対策について 感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理(予防接種等)、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行ないます。	(院内感染対策について) 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組めます。	(院内感染対策に係る地域医療連携) ・合同カンファレンス 6/11 9/10 12/10 2/18 開催 奈良県総合医療センターにて	<医療安全勉強会の内容> ・7/31 他 4 回開催分の内容 「ミスしやすい人その要因と対策」 講師：鈴鹿隆晃 野崎徳洲会病院 医療安全管理者 ・11/13 他 2 回開催分の内容 「徳洲会 Never Event を理解する」 講師：関根副看護部長	課題 今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、院内における感染管理をより一層徹底するとともに、引き続き、奈良県をはじめとする関係機関と情報交換等しながら、目まぐるしく変化する新型コロナウイルス感染症の状況に臨機応変に対応する必要がある。								
	・医療安全管理委員会 (毎月 1 回開催) ・医療安全カンファレンス (毎週 1 回開催) ・医療安全勉強会 (年 2 回開催)	・医療安全勉強会 ・7/31 8/5 8/7 8/9 8/14 合計 239 名参加 ・11/13 11/14 11/15 合計 230 名参加	<院内感染対策委員会(I C T) > 院内感染対策委員会では、感染発生の監視、院内感染の監視、職員の管理(予防接種等)、事故調査及び防止策の検討を行っています。 < I C T 合同カンファレンス> 近隣の徳洲会グループ病院と合同で、近隣地域の感染症発生状況や各種サーベイランス等の討議報告を行っています。 < I C T ラウンド> 各部署を巡回し、医療事故やインシデントが起きやすい環境(物品の配置等)を指摘し、各委員会で報告し、改善を促す活動のことです。									
	・院内感染対策委員会 (毎月 1 回開催) ・ICT 合同カンファレンス (偶数月参加) ・ICT ラウンド(毎週 1 回開催) ・感染勉強会(年 2 回開催) ・院内感染対策に係る地域医療連携(合同カンファレンス 年 2 回参加)	(新型コロナウイルス感染症対策会議) ・奈良県主催 新型コロナウイルス感染症に関する連絡会 2/17 3/16 ・奈良県主催 新型コロナウイルス感染症小児科連絡会 2/21 ・奈良県郡山保健所主催 院内感染ネットワーク研修会 3/4 3/9 開催の院内感染対策委員会において、3/19 から、1 階外来で有熱エリアを区分けし、5 階東病棟では、疑似症患者エリアをビニールカーテンにより仕切った。	<感染勉強会> ・7/10 7/11 7/12「感染性廃棄物について」合計 197 名参加 講師：(株)メディカルウェイトシステム 羽田雄 氏 ・11/13 11/14 11/15「針刺し事故防止について」合計 227 名参加 講師：萩原看護師長 <院内感染対策に係る地域連携> 院内感染対策に係る地域連携として、看護師、薬剤師、検査技師で構成する感染防止対策チームが、専任の感染管理者を有する奈良県総合医療センターを中心とした合同カンファレンスに、白庭病院、東生駒病院、高の原中央病院、沢井病院、奈良医療センターとともに参加しました。 ・合同カンファレンス 6/11 9/10 12/10 2/18 開催									

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 事業報告	令和元年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題																
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与 地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。 地域医療の支援に対する取組 ●在宅支援機能の充実 地域連携バスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行ないます。また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪事に対応する処置、入院加療用として 5 床を確保します。 ●開放型病床の設置 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。 ●地域医療機関への医療教育プログラムの提供 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施 ・院内外の医療従事者に対する TCLS※又は AHABLS、AHAACLS トレーニング（ACLS に相当する指定管理者のプログラム）の継続的实施（2 年に 1 回程度） ・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施（年 2 回程度） ※TCLS 二次医療機関で行う救命救急における心肺蘇生法で、アメリカ心臓協会が認定しているコースである ACLS のガイドラインに基づいた実際の医療機器を使用したシミュレーション実習のこと。	地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献します。 ○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。 地域連携バスについては、県や地域の医療機関、医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。 ○開放型病床の設置について 開放型病床については、地域の医療機関や医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。 ○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会、交流会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、TCLS（徳洲会二次救命処置法）などの対象者が広範囲で、地域医療の発展に寄与できるようなプログラムの充実に図るとともに、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、PR や周知を強化します。 ・医療教育プログラム ・病診連携懇話会	地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に図りました。 ○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行いました。 （令和 2 年 3 月 31 日時点） ・医療連携登録医 66 施設・81 名 ・協力医療機関連携施設 60 施設 ・地域連携バスは、現体制において、既に、登録医等当院に患者を紹介された開業医の先生方との間で、紹介患者の状況や診療計画など情報を共有していることから、本制度の導入には至りませんでした。 ・入退院支援チームは実施 ・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の委員として院長が参加 ・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会在宅医療介護推進部会及び入退院調整マニュアル運用ワーキンググループの委員として地域医療連携室の職員が参加 ○開放型病床の設置について 開放型病床は、現体制において、既に、登録医等当院に患者を紹介された開業医の先生方が、紹介患者のその後の治療経過などの情報を把握するために来院されていることから、本制度の導入には至りませんでした。 ○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした医療教育プログラムについて、検討を重ね、プログラムの充実に図りました。 また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所に対し案内するなど PR や周知を強化しました。 ・医療教育プログラム 新生児蘇生法講習会（NCPR） 6/23 24 名参加（院内 5 名、院外 19 名） 医療メディエーター研修 9/7～9/8 24 名参加（院内 5 名、院外 19 名） ALS0-Japan 学術集会 10/13 奈良春日野国際フォーラム ※台風接近に伴い開催中止 ・病診連携懇話会は、内容等の検討に時間を要したため、開催に至りませんでした。	＜医療連携登録医＞ <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>施設数</td><td>66</td><td>67</td><td>△ 1</td></tr></table> 医療連携登録医は、医療連携登録医申請書の提出によるもの。 66 施設の内、市内クリニックは 30 施設・35 名 全市内クリニック（89 施設）の 33.7% 医療連携登録医からの紹介件数：1,033 件（市内 692 件、市外 341 件）（平成 30 年度：医療連携登録医からの紹介件数：1,117 件（市内 732 件、市外 385 件）） ＜協力医療機関連携施設＞ <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>施設数</td><td>60</td><td>54</td><td>6</td></tr></table> 協力医療機関連携施設（介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームなど）と、連携契約書を締結しています。 協力医療機関連携施設からの患者の救急車による搬送件数：25 件 ＜地域連携バス＞ ・治療を行った病院と地域のかかりつけ医とが患者の診療情報を共有できる「診療計画表」のこと。専門的な治療や検査は病院が行い、日常の診療などは地域のかかりつけ医が行うなど、役割分担し、連携しながら治療を進めることで、患者が退院後も住み慣れた地域で、切れ目のない治療を受けることができます。 ＜入退院支援チーム＞ 市立病院の医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーにより、患者の退院計画を作成しています。 入退院支援チームの実績（令和元年度） 入退院支援加算 1,245 件、介護支援連携指導 324 件、退院時共同加算 61 件 ＜生駒市医療介護連携ネットワーク協議会＞ 5/25 ＜生駒市医療介護連携ネットワーク協議会 在宅医療介護推進部会＞ 5/25 9/11 11/13 2/21 ＜開放型病床＞ ・患者のかかりつけ医と病院の医師が、共同して患者の治療を行える病床のこと。地域の先生方と連携して患者の治療にあたり、よりレベルの高い治療を目指すもので、要件として、20 以上の診療所の医師登録、利用率 20%以上の実績が求められます。 ＜NCPR(新生児蘇生法)＞ 標準的な新生児蘇生法の理論と技術を習熟することにより、新生児の救命と重篤な障害の回避が期待されるものです。 ＜病診連携懇話会＞ ・医療連携登録医をはじめとした市内の診療所の医師を対象とした症例検討会の実施や市立病院への紹介件数や機器の共同利用実績の報告などを行うことにより、地域医療連携の推進を図るものです。		R1	H30	増減	施設数	66	67	△ 1		R1	H30	増減	施設数	60	54	6	○在宅患者の増悪時の受入れなど、在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院の役割を果たすため、市立病院と地域の医療機関等との連携が進められている。 ○生駒市医療介護連携ネットワーク協議会等、市の在宅医療・介護連携事業に参画することにより、市内の医療機関・介護事業所等のスタッフ間での「顔の見える」関係性づくりが進められている。 ○医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーによる入退院支援チームの活動や入退院調整マニュアルの積極的な活用により、退院後も切れ目のないケアを提供できている。 課題 在宅支援機能をさらに充実させるために、市内の医療連携登録医を増やしていくことで、地域の医療機関との連携強化を図る必要がある。 ○NCPR などの教育プログラムに、院内外の医療従事者などが参加している。
	R1	H30	増減																	
施設数	66	67	△ 1																	
	R1	H30	増減																	
施設数	60	54	6																	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 事業報告	令和元年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題																																																																												
●周辺の他の医療機関との連携 新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放病床の取組を進めます。 また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。 また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。	○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への医療機能等の情報提供を積極的に行い、医師会への入会を目指します。また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用を引き続き推進します。 市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、「顔の見える関係性」を深めるとともに、会議の場において、積極的に情報提供をします。 ・オープン利用件数（年間） <table><tr><td>MRI</td><td>280 件</td></tr><tr><td>CT</td><td>100 件</td></tr><tr><td>内視鏡</td><td>20 件</td></tr><tr><td>エコー</td><td>20 件</td></tr></table> 医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、積極的に PR します。 （令和 2 年 3 月 31 日時点） ・医療連携登録医 80 施設 ・協力医療機関連携施設 80 施設 地域の医療機関との有病・病診連携及び協力体制を重視し、さらなる紹介率及び逆紹介率の向上を目指し、紹介された患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域の診療所に逆紹介します。 ・紹介率 45% ・逆紹介率 20%	MRI	280 件	CT	100 件	内視鏡	20 件	エコー	20 件	○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、毎月、市立病院の医療機能等の情報提供を続けました。 また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用を引き続き実施しました。 市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、「顔の見える関係性」を深めるとともに、会議の場において、積極的に情報提供をしました。 ・医療機器のオープン利用件数（年間） <table><tr><td>MRI</td><td>254 件（全利用件数 2,286 件）</td></tr><tr><td>CT</td><td>91 件（全利用件数 6,407 件）</td></tr><tr><td>内視鏡</td><td>11 件（全利用件数 1,961 件）</td></tr><tr><td>エコー</td><td>25 件（全利用件数 4,171 件）</td></tr></table> 医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の拡大を目指し、地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問し、登録のメリットを PR しました。 （令和 2 年 3 月 31 日時点） ・医療連携登録医 66 施設・81 名 ・協力医療機関連携施設 60 施設 ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 2,648 件(H30 年度：387 件) H30 年度までは、地域の医療機関への情報提供について、病院だより等を郵送していましたが、直接訪問へと改めたため、訪問回数が増加しました。 地域の医療機関との有病・病診連携及び協力体制を重視し、紹介された患者の受入れに努めました。 また、病状の安定した患者の逆紹介を促進するため、紹介を受けた患者については紹介元へ逆紹介することに加え、紹介を受けていない患者についても、地域医療連携室を通して、患者と相談しながら、患者の住居の周辺の医療機関などへの逆紹介に努めました。 ・紹介率 33.3% ・逆紹介率 18.3%	MRI	254 件（全利用件数 2,286 件）	CT	91 件（全利用件数 6,407 件）	内視鏡	11 件（全利用件数 1,961 件）	エコー	25 件（全利用件数 4,171 件）	<医師会へ提供している情報> 市立病院の外来予定表、当直表、オンコール表など <医療機器のオープン利用> <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>MRI</td><td>254</td><td>261</td><td>△ 7</td></tr><tr><td>CT</td><td>91</td><td>95</td><td>△ 4</td></tr><tr><td>内視鏡</td><td>11</td><td>17</td><td>△ 6</td></tr><tr><td>エコー</td><td>25</td><td>18</td><td>7</td></tr></table> ・市主催の市内等病院との救急等意見交換会に参加 2/21 <医療連携登録医> <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>施設数</td><td>66</td><td>67</td><td>△ 1</td></tr></table> ・医療連携登録医は、医療連携登録医申請書の提出によるもの。 ・66 施設の内、市内クリニックは 30 施設・35 名 ・全市内クリニック（89 施設）の 33.7% ・登録医であることを周知する「登録医プレート」を全登録医に配布 <協力医療機関連携施設> <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>施設数</td><td>60</td><td>54</td><td>6</td></tr></table> 協力医療機関連携施設（介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームなど）と、連携契約書を締結しています。 <紹介率・逆紹介率等> <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>紹介率</td><td>33.3</td><td>33.2</td><td>0.1</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>18.3</td><td>14.4</td><td>3.9</td></tr><tr><td>地域(市内)医療機関の市立病院利用率</td><td>88.8</td><td>86.0</td><td>2.8</td></tr></table> ・紹介率（紹介初診患者数＋初診救急患者数）÷初診患者数 (2,538+ 1,560) ÷ 12,324 = 33.3 % ・逆紹介率 逆紹介患者数÷初診患者数 2,254 ÷ 12,324 = 18.3 % （参考：紹介元の医療機関に返した入院患者数÷紹介による入院患者数） 182 件÷ 430 件 = 42.3 % ・地域(市内)医療機関の市立病院利用率 市内で紹介を受けた内科医療機関数÷市内内科医療機関数 79 ÷ 89 = 88.8 % <地域医療連携室>（令和 2 年 3 月 31 日） ・看護師 1 名 ・メディカルソーシャルワーカー 3 名（内非常勤 1 名） ・事務員 2 名 <入退院支援加算> <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>件数</td><td>1,245</td><td>865</td><td>380</td></tr></table> <やまと西和ネット> ・西和医療圏（生駒市他 1 市 7 町の医療機関、介護事業所を利用される方の病気、薬などの情報を共有（事務局：近畿大学奈良病院内、一般社団法人西和医療圏地域医療介護連携推進協議会） ・10 月に正式に稼動しました。		R1	H30	増減	MRI	254	261	△ 7	CT	91	95	△ 4	内視鏡	11	17	△ 6	エコー	25	18	7		R1	H30	増減	施設数	66	67	△ 1		R1	H30	増減	施設数	60	54	6		R1	H30	増減	紹介率	33.3	33.2	0.1	逆紹介率	18.3	14.4	3.9	地域(市内)医療機関の市立病院利用率	88.8	86.0	2.8		R1	H30	増減	件数	1,245	865	380	○入退院支援加算件数が増加しており、退院困難患者の早期抽出、入院早期の患者・家族との面談、多職種連携カンファレンスを実施するなど、入院早期から退院後の生活を見据えた医療と介護の切れ目のない支援が推進されている。 ○地域の医療機関へ病院だよりを郵送していたが、直接訪問へと改めたため、地域の医療機関への情報提供等訪問回数が大幅に増加した。 ○協力医療機関連携施設との連携実績を重ねたことにより、新たな協力医療機関連携施設が増加した。 課題 地域医療機関との有病・病診連携の推進及び紹介患者の増加のためには、医師会との連携は不可欠であり、引き続き入会審査に対応していく必要がある。
MRI	280 件																																																																															
CT	100 件																																																																															
内視鏡	20 件																																																																															
エコー	20 件																																																																															
MRI	254 件（全利用件数 2,286 件）																																																																															
CT	91 件（全利用件数 6,407 件）																																																																															
内視鏡	11 件（全利用件数 1,961 件）																																																																															
エコー	25 件（全利用件数 4,171 件）																																																																															
	R1	H30	増減																																																																													
MRI	254	261	△ 7																																																																													
CT	91	95	△ 4																																																																													
内視鏡	11	17	△ 6																																																																													
エコー	25	18	7																																																																													
	R1	H30	増減																																																																													
施設数	66	67	△ 1																																																																													
	R1	H30	増減																																																																													
施設数	60	54	6																																																																													
	R1	H30	増減																																																																													
紹介率	33.3	33.2	0.1																																																																													
逆紹介率	18.3	14.4	3.9																																																																													
地域(市内)医療機関の市立病院利用率	88.8	86.0	2.8																																																																													
	R1	H30	増減																																																																													
件数	1,245	865	380																																																																													

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 事業報告	令和元年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。 <				

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 事業報告	令和元年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題																																						
●救急に対する人員体制 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとります。 (具体的な体制) <table><tr><td></td><td>人員体制</td></tr><tr><td>通常時</td><td>内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td></tr><tr><td>北和小児科二次輪番日</td><td>通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直</td></tr><tr><td>休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日</td><td>通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td></tr><tr><td>北和産婦人科一次救急当番日</td><td>通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直</td></tr></table> ●診療科毎の対応レベル <table><tr><td></td><td>対応レベル</td></tr><tr><td>内科 (二次輪番)</td><td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td></tr><tr><td>外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)</td><td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等是对処不能)</td></tr><tr><td>小児科 (二次輪番)</td><td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td></tr><tr><td>産婦人科 (二次輪番)</td><td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td></tr></table>		人員体制	通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直	休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直		対応レベル	内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等是对処不能)	小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に脳神経外科、整形外科等の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。 (夜間救急受入体制) ・医師 1 名の夜間時間外担当医及び 1 名の常勤当直医 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2・3 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 ○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を充実します。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。	○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備するとともに、当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。 (夜間救急受入体制) ・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 ○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続しました。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を維持しました。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制が確立しています。	<医師のオンコール体制> 消化器内科、循環器内科、外科、形成外科、腎臓泌尿器科、産婦人科、小児科 ・脳神経外科については、他病院との連携体制で対応 連携実績 <table><tr><td>近畿大学奈良病院</td><td>3 件</td></tr><tr><td>奈良県総合医療センター</td><td>5 件</td></tr><tr><td>野崎徳洲会病院</td><td>16 件</td></tr></table> (H30 年度実績：近畿大学奈良病院 5 件、奈良県総合医療センター9 件、野崎徳洲会病院 19 件) ・当直時間帯での CT、MRI 検査、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術の各実績 <table><tr><td>CT</td><td>1, 427 件</td><td>(H30 年度実績 1, 518 件)</td></tr><tr><td>MRI</td><td>194 件</td><td>(H30 年度実績 136 件)</td></tr><tr><td>心臓カテーテル検査</td><td>23 件</td><td>(H30 年度実績 18 件)</td></tr><tr><td>内視鏡検査</td><td>23 件</td><td>(H30 年度実績 24 件)</td></tr></table>	近畿大学奈良病院	3 件	奈良県総合医療センター	5 件	野崎徳洲会病院	16 件	CT	1, 427 件	(H30 年度実績 1, 518 件)	MRI	194 件	(H30 年度実績 136 件)	心臓カテーテル検査	23 件	(H30 年度実績 18 件)	内視鏡検査	23 件	(H30 年度実績 24 件)	課題 当直可能な医師 2 名、看護師、放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員の 24 時間 365 日の救急受入体制が維持されているものの、当直・オンコール体制に参加できる脳神経外科及び整形外科の常勤医師の確保に努める必要がある。 ○24 時間 365 日、病院事業計画に掲げる CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院並びに心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術に対応可能な体制が継続されている。
	人員体制																																									
通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制																																									
北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直																																									
休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置																																									
北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直																																									
	対応レベル																																									
内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)																																									
外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等是对処不能)																																									
小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可																																									
産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)																																									
近畿大学奈良病院	3 件																																									
奈良県総合医療センター	5 件																																									
野崎徳洲会病院	16 件																																									
CT	1, 427 件	(H30 年度実績 1, 518 件)																																								
MRI	194 件	(H30 年度実績 136 件)																																								
心臓カテーテル検査	23 件	(H30 年度実績 18 件)																																								
内視鏡検査	23 件	(H30 年度実績 24 件)																																								

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 事業報告	令和元年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題																																																																
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。	小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備を行います。 ○小児医療体制について ・医師の人員体制は、常勤医師の確保により、常勤医師 2 名体制を目指します。 ・北和小児科二次輪番体制への参加を目指します。	小児の入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。 ○小児医療体制について ・常勤医師 2 名体制を目指し、平成 30 年 1 月に着任した常勤医師に加えて、もう 1 名の確保に努めました。 ・北和小児科二次輪番体制への参加を目指し、北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席しました。	・小児科外来診療は、月～金までの間、常勤 1 名 非常勤医師 2 名による一診体制 ・7/17 令和元年度第 1 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席 ・1/20 令和元年度第 2 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席 ・未熟児出産に関しては、NICU をもつ近畿大学奈良病院と連携しています。	○当院産婦人科と連携し、出生児の診察や 1 ヶ月健診を担当し、安心して出産できる体制を構築している。 ○小児アレルギー外来では、アレルギー専門医が、気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎などの小児アレルギー疾患に対応している。 課題 小児二次医療の充実や小児救急の実施に向け、体制の整備に努める必要がある。																																																																
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急用医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。	大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。 ○災害時医療体制の確立について 災害対策マニュアルに沿って現場スタッフや地域住民による実地訓練を行います。 ・消防訓練（通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練） ・防災訓練（トリアージ・患者受入訓練・机上訓練） 市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、災害時の連携強化を図ります。	大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制整備をはじめ、機能の強化に努めました。 ○災害時医療体制の確立について ・6/19 3/18 消防訓練実施（通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練） ・防災訓練（トリアージ・患者受入訓練） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施 ・5/10 11/7 市主催の防災行政無線通信訓練に参加	<消防訓練> ・6/19 3/18 実施 ・訓練参加人数 6/19 25 人、3/18 24 人 ・通報訓練、避難誘導訓練を実施した後、初期消火訓練の実施により、消防設備の位置、内容等について実地確認をし、確実に初期消火が行える体制を整えることができました。 ・11/28 市消防本部救急隊との意見交換会 ・2/21 市内等 7 病院の担当者が出席した救急等意見交換会に参加	○消防訓練を実施したことにより、参加職員の防災意識の向上につながった。 ○大規模災害時の医療救護にかかる防災行政無線の通信訓練に参加するなど、市医師会災害対策本部を中心とする市内救護病院との情報共有・連携体制の構築に努めた。																																																																
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。 ●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。（講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等病院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。） また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。	市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。 また、市民健診については、地域の診療所では対応できない、又は対応できる医療機関が少ない二次健診等を充実していきます。 ○疾病予防機能の強化について 市民への予防医療の啓発として、認知症やうつ病、在宅医療など、市民の要望が多いものの市立病院スタッフで対応できない分野について、市が実施する医療講演会等に対して協力します。 また、市民との交流、健康づくりを推進するため、自治会等各種団体への出張講座を積極的に実施します。 乳がん検診など未実施の健診については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、実施の方向で進めます。 ・医療講演会（自治会等各種団体への出張講座含む）月 4 回程度実施 ・市民健診 大腸がん検診 220 件 胃がん(胃内視鏡)検診 200 件 肝炎ウイルス検診 40 件 特定健診 700 件 一般健診 550 件 人間ドック・脳ドック 550 件 その他団体健診等 1,100 件 ・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 330 件 肺炎球菌 150 件	市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。 また、二次健診の受診増を目的として、市内医療機関への医療機能についての情報提供を充実しました。 ○疾病予防機能の強化について 市が実施した医療講演会を支援しました。 ・9/25「超高齢社会における在宅医療のあり方」56 名参加 胃がん（胃内視鏡）検診については、平成 29 年 9 月 1 日から引き続き実施しています。 乳がん健診の実施に向けて、令和 2 年 3 月に乳房 X 線撮影装置（マンモグラフィ）を導入しました。 ・医療講演会 72 講座 参加者 2,126 名 ・市民健診 大腸がん検診 371 件 胃がん(胃内視鏡)検診 117 件 肝炎ウイルス検診 14 件 特定健診 877 件 一般健診 1,717 件 生活保護者等の健康診査 3 件 人間ドック・脳ドック 919 件 その他団体健診等 1,593 件 ・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 421 件 肺炎球菌 72 件	<医療講演会> <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>件数</td><td>72</td><td>50</td><td>22</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>2,126</td><td>2,180</td><td>△ 54</td></tr></table> <医療講演会の内容例> ・甲状腺の病気について ・慢性腎臓病の検査について ・市民健診、特定健診、がん検診について ・子宮頸がんについて ・がんの早期発見（たけまる健康講座 in よしもと芸術文化祭） ・下肢静脈瘤の治療（たけまる健康講座 in よしもと芸術文化祭） <市民健診> <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>大腸がん検診</td><td>371</td><td>233</td><td>138</td></tr><tr><td>胃がん（胃内視鏡）検診</td><td>117</td><td>181</td><td>△ 64</td></tr><tr><td>肝炎ウイルス検診</td><td>14</td><td>14</td><td>0</td></tr><tr><td>特定健診※ 1</td><td>877</td><td>971</td><td>△ 94</td></tr><tr><td>一般健診</td><td>1,717</td><td>1,440</td><td>277</td></tr><tr><td>生活保護者等の健康診査※ 2</td><td>3</td><td>7</td><td>△ 4</td></tr><tr><td>人間ドック・脳ドック</td><td>919</td><td>680</td><td>239</td></tr><tr><td>その他団体健診等</td><td>1,593</td><td>1,161</td><td>432</td></tr><tr><td>合計</td><td>5,611</td><td>4,687</td><td>924</td></tr></table> ※1 生活習慣病を予防・早期発見するための健診です。 ※2 健康増進法施行規則第 4 条の 2 第 4 号に定める健康診査 <高齢者インフルエンザ予防接種> <table><tr><td></td><td>R1</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>件数（市立病院）</td><td>421</td><td>323</td><td>98</td></tr><tr><td>件数（生駒市全体）</td><td>15,867</td><td>14,568</td><td>1,299</td></tr></table>		R1	H30	増減	件数	72	50	22	参加者数	2,126	2,180	△ 54		R1	H30	増減	大腸がん検診	371	233	138	胃がん（胃内視鏡）検診	117	181	△ 64	肝炎ウイルス検診	14	14	0	特定健診※ 1	877	971	△ 94	一般健診	1,717	1,440	277	生活保護者等の健康診査※ 2	3	7	△ 4	人間ドック・脳ドック	919	680	239	その他団体健診等	1,593	1,161	432	合計	5,611	4,687	924		R1	H30	増減	件数（市立病院）	421	323	98	件数（生駒市全体）	15,867	14,568	1,299	○市立病院の医師や薬剤師等による予防医療の啓発に向けた医療講演会が幅広い内容で開催された。 ○市立病院として市民の健康づくりや疾病予防を図るため、市民との交流、健康づくりの推進に努めている。 ○年度事業計画と比べて、P R 活動等を強化したため、市民健診件数が大幅に増加し、疾病予防機能の拡充が図られている。 課題 市民の健康づくりや疾病予防を促進するためには、院内の講演会の充実に加え、自治会や学校、企業、各種団体・グループ等対象を広げて、より一層広域的に市民にPRする必要がある。
	R1	H30	増減																																																																	
件数	72	50	22																																																																	
参加者数	2,126	2,180	△ 54																																																																	
	R1	H30	増減																																																																	
大腸がん検診	371	233	138																																																																	
胃がん（胃内視鏡）検診	117	181	△ 64																																																																	
肝炎ウイルス検診	14	14	0																																																																	
特定健診※ 1	877	971	△ 94																																																																	
一般健診	1,717	1,440	277																																																																	
生活保護者等の健康診査※ 2	3	7	△ 4																																																																	
人間ドック・脳ドック	919	680	239																																																																	
その他団体健診等	1,593	1,161	432																																																																	
合計	5,611	4,687	924																																																																	
	R1	H30	増減																																																																	
件数（市立病院）	421	323	98																																																																	
件数（生駒市全体）	15,867	14,568	1,299																																																																	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 31 年度 事業計画	令和元年度 事業報告	令和元年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題															
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。	市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。 ○市民の意見の反映の仕組み 入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組及び対応できない理由について、院内掲示、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など広く市民等に周知します。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査（中間報告を含む）について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映します。 ・市立病院管理運営協議会 ・入院・外来患者アンケート調査 ・ご意見箱の内容に対する対応 ○市民交流事業について 市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、市民交流事業を開催します。 ・健康フェスティバル ・院内コンサート等	市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進しました。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催しました。 ○市民の意見の反映の仕組み ・市立病院管理運営協議会開催 年度事業報告書に係る実施状況調査（中間報告を含む）について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映しました。 ・入院・外来患者アンケート調査を実施（実施機関 H31.3 月～R1.7 月） 患者満足度（総合評価の評点） 入院 88.1 点 外来 78.8 点 ・ご意見箱等の内容に対応 ご意見箱等の内容に対して、速やかに対応するよう努めました。 アンケートの調査結果等の公表方法についての検討に時間を要したため、公表に至りませんでした。 ○市民交流事業について 市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、市民交流事業を開催しました。 ・健康フェスティバル 6/16 約 500 名参加 ・院内コンサート等 12/7 クリスマスコンサート開催	<生駒市病院事業推進委員会> ・新型コロナウィルス感染拡大防止のため次年度に延期 <生駒市立病院管理運営協議会> ・ 7/23 令和元年度第 1 回会議開催 会議内容 平成 30 年度実施状況調査報告書(案)について ・ 11/28 令和元年度第 2 回会議開催 会議内容 令和元年度中間報告書(案)について <入院・外来患者アンケート調査> 患者満足度（総合評価の評点） <table><tr><td></td><td>入院</td><td>外来</td></tr><tr><td>今回</td><td>88.1</td><td>78.8</td></tr><tr><td>前回</td><td>81.0</td><td>79.3</td></tr><tr><td>同規模</td><td>79.8</td><td>78.9</td></tr><tr><td>G P 全体</td><td>82.4</td><td>78.8</td></tr></table> <ご意見箱の内容> ・健診センターや病院のスタッフの対応が丁寧で、スピーディでした。病院の雰囲気も良く驚きました。ありがとうございました。 ・ドクターをはじめ、スタッフの皆さんには親切にして頂き、安心して診察が受けられます。感謝しています。 ・ホームページを工夫して充実させてほしい。（回答：現在リニューアルを検討しています。） ・会計の待ち時間がかかりすぎる。（回答：医事課職員のレベルアップを図ります。） ・食事の配膳時及び清掃時に病室のカーテンを閉めるなど、プライバシーに配慮してほしい。（回答：声掛けなどスタッフへの周知を図ります。） 令和元年度意見総数：入院 7 件、外来 23 件 （平成 30 年度意見総数：入院 14 件、外来 14 件） <健康フェスティバル> ・医療講演会（市立病院の医師 2 名・全国訪問ボランティアナースの会） 「地域医療と健康」 「健診のかしい受け方」 「キャンナスって何ですか？～地域のなかでできること～」 ・市内小学校プラスバンドによるコンサート ・健康チェックコーナー、救命体験 ・薬剤師体験(お菓子を使った錠剤や散剤の分包体験等)、医療機器展示等		入院	外来	今回	88.1	78.8	前回	81.0	79.3	同規模	79.8	78.9	G P 全体	82.4	78.8	○生駒市立病院管理運営協議会では、指定管理者から提出された前年度の事業報告及び当年度の中間報告について、市民等の会員からの評価や課題等についての意見・提案を、直接、市長や院長に伝えることができる場となっている。さらには、次年度事業計画に反映する仕組みが整えられている。 ○入院・外来患者アンケートの実施により、外来・入院患者の病院への評価・満足度を、前回調査、グループ病院との比較の中で相対的に把握することができている。 また、総合評価だけでなく、治療内容、職員対応・サービスなどのソフト面や設備・環境などのハード面に加え、診療科、病棟ごとの個別評価をしている。 ○健康フェスティバルでは、市民に市立病院を身近に感じていただき、子どもからお年寄りまで楽しみながら体験できる場を提供できている。また、令和元年度も多くの方に参加して頂き、毎年恒例行事として定着しつつある。 課題 入院・外来患者アンケート調査結果を精査し、評価・満足度の高い項目は、さらに向上を目指す。 また、評価・満足度の低い項目は、原因を分析し、課題の抽出、改善策の検討を行い、具体的に次年度以降の計画に反映させる必要がある。
	入院	外来																	
今回	88.1	78.8																	
前回	81.0	79.3																	
同規模	79.8	78.9																	
G P 全体	82.4	78.8																	
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO(国際標準化機構) 14000 シリーズの認証取得を目指す。	引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。 ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化します。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。	引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進しました。 ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。		○市組織と同等の取組みが実施されている。															
			<院内保育所> 院内 7 階バンビ保育園 ・保育時間 日勤 8:00～17:30（366 日） 夜勤 16:00～ 翌日 10:00（週 2 回 火・金） ・保育園児 対象 生後 2 か月～10 歳 (医師・看護職員のお子さん) ・保育士 人員 常時 2 名以上 実績見込 ・保育児童数 一日平均 8.3 人(H30 実績 7 人) ・24 時間保育運営日数 41 日(H30 実績 67 日) ・休日保育運営日数 66 日(H30 実績 63 日)																

収支

(単位 千円)

平成31年度事業計画 (令和2年3月末)		令和元年度事業報告		計画と報告の差額	
医業収入	4,229,311	医業収入	3,318,378	医業収入	△ 910,933
医業費用	4,013,116	医業費用	3,745,033	医業費用	△ 268,083
医業利益	216,195	医業利益	△ 426,655	医業利益	△ 642,850
その他費用	296,115	その他費用	0	その他費用	△ 296,115
医業外収益	42,000	医業外収益	16,704	医業外収益	△ 25,296
医業外費用	10,200	医業外費用	42	医業外費用	△ 10,158
経常利益	△ 48,120	経常利益	△ 409,993	経常利益	△ 361,873